

事務事業実績測定調査

10317010001	「なんでも、どこでも出前塾」実施事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供することにより、市民が主体的に生涯学習活動ができています。				
事業概要	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(実施報告書より) 実施報告書に満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」と回答した開催講座数/開催講座数×100】 項目:「満足」「普通」「不満」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.28	0.38	0.13
正職員数	0.26	0.35	0.13
非正規職員数(計)	0.02	0.03	0.00
再任用職員数	0.02	0.02	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.01	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,136	2,905	1,042
正職員人件費(換算額)	2,047	2,783	1,042
非正規職員人件費(計)	89	122	0
再任用職員人件費(換算額)	89	98	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	24	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	12	11	11
■事務事業の総計(千円)	2,148	2,916	1,053
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,148	2,916	1,053

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	(令和元年度の実績) 職員による出前講座 登録件数117件 開催件数117件 学びの情報ひろば 生涯学習市民センター登録団体数768件 登録団体の講師数40件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	「職員による出前講座」については、市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、引き続き実施する。また、制度の周知を図り、利用を促進する。 「学びの情報ひろば」については、より多くの生涯学習情報を提供するよう努める。	

事務事業実績測定調査

10317010002	ひらかた人形劇フェスティバル支援事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1990 (H02) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかた人形劇フェスティバルを通じて市民に人形劇の楽しさを味わってもらっている。				
事業概要	枚方人形劇連絡会、枚方市、(公財)枚方市文化国際財団、指定管理者の4者で「ひらかた人形劇フェスティバル実行委員会」を組織し、毎年3月に「ひらかた人形劇フェスティバル」を開催している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(来館者より) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.63	0.35	0.07
正職員数	0.44	0.35	0.07
非正規職員数(計)	0.19	0.00	0.00
再任用職員数	0.14	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.05	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,087	2,783	561
正職員人件費(換算額)	3,465	2,783	561
非正規職員人件費(計)	622	0	0
再任用職員人件費(換算額)	622	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	495	267	0
■事務事業の総計(千円)	4,582	3,050	561
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,582	3,050	561

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>令和元年度は以下の通り実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月2日～3月15日 キッズのための人形劇講座(全7回) ・2月22日 プレフェスティバル(メセナひらかた) ・3月22日 本フェスティバル(牧野生涯学習市民センター) 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>地域を巻き込んだPRを引き続き検討していき、地域の活性化とともに、事業及びセンターの認知度の向上を図り、街の魅力のひとつとして発信していく。</p> <p>令和3年度以降は、総合文化芸術センター指定管理者への引継ぎを行う。</p>	

事務事業実績測定調査

10317010003	ふれあいホール運営事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1994 (H06) 年度		～		
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切にふれあいホールの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として市民の交流が深まっている。				
事業概要	<p>市民に工芸・クラフト等の発表及び鑑賞の場を提供し、市民文化の向上に質することを目的に、市民の生涯学習活動を支援する為、ふれあいホールを設置し、市民の利用に供している。</p> <p>※ふれあいホールは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	ふれあいホール利用率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	60以上	60以上	—		
実績	56					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.54	0.85	0.16
正職員数	0.40	0.45	0.10
非正規職員数(計)	0.14	0.40	0.06
再任用職員数	0.14	0.20	0.03
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.20	0.03
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,772	5,051	991
正職員人件費(換算額)	3,150	3,578	802
非正規職員人件費(計)	622	1,473	189
再任用職員人件費(換算額)	622	984	153
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	489	36
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	3,772	5,051	991
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,772	5,051	991

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	56.00%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	「市主催展」開催回数:7回、来場者数:6,233人 「各利用者展」開催回数:20回、来場者数:7,739人	
今後の方向性	廃止	
具体的な 今後の取組方策	多くの人来場していただくため、広報・市ホームページ・センター情報誌等で周知するとともに、若手芸術家支援事業、他部署の事業、観光にぎわい部のPR事業などに会場を提供し、利用率の向上を図る。 令和3年10月以降は総合文化芸術センター美術ギャラリー(指定管理者)への引継ぎを行う。	

事務事業実績測定調査

10317010004	市民ギャラリー主催事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会・市民のニーズを把握して、多くの市民の方に身近で気軽に美術鑑賞をしていただける展示会を開催できている。				
事業概要	<p>美術鑑賞活動と文化交流の場として、公募展、主催展及び企画展を開催する。</p> <p>※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止するが、引き続き、主催事業については総合文化芸術センターで実施する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	91					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.97	1.15	0.98
正職員数	0.81	0.60	0.47
非正規職員数(計)	1.16	0.55	0.51
再任用職員数	0.41	0.20	0.18
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.65	0.25	0.23
臨時職員数	0.10	0.10	0.10
■人件費総額(千円)	9,988	6,539	5,050
正職員人件費(換算額)	6,378	4,771	3,768
非正規職員人件費(計)	3,610	1,768	1,282
再任用職員人件費(換算額)	1,822	984	918
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,590	612	274
臨時職員人件費(実額)	198	172	90
■直接経費(千円)	837	827	671
■事務事業の総計(千円)	10,825	7,366	5,721
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	5	0	0
一般財源	10,820	7,366	5,721

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	87.92%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	「企画展」 開催回数:6回、来場者数:5,992人 「公募展」 開催回数:3回、来場者数:1,889人	
今後の方向性	廃止	
具体的な 今後の取組方策	より多くの方にご来場いただけるよう、広報ひらかた、枚方市ホームページ、センター情報誌等を活用し、広く周知するとともに、魅力ある展示構成やポスター・チラシの制作に努める。 令和3年10月以降は総合文化芸術センター美術ギャラリー(指定管理者)への引継ぎを行う。	

事務事業実績測定調査

10317010005	生涯学習市民センター維持管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		～		
根拠法令等	建築基準法、消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、電気事業法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習施設の利用者が、安全・快適に利用ができています。				
事業概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習施設管理 市内9箇所の生涯学習市民センター施設の清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の保守点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化等に伴う修繕改修等の実施。 枚方市立生涯学習市民センター(全9施設)・楠葉生涯学習市民センター・サンブラザ生涯学習市民センター・さだ生涯学習市民センター・御殿山生涯学習美術センター・牧野生涯学習市民センター、牧野生涯学習市民センター牧野北分館・津田生涯学習市民センター・菅原生涯学習市民センター・南部生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザ <input type="checkbox"/> 市所蔵美術工芸品の適正管理 所蔵する美術工芸品の状態を把握するとともに、美術作品の適正管理を行う。 <input type="checkbox"/> 各種基金実施事業 ・「枚方市植村猛アート基金」を活用し、本市の美術事業の充実を図る。 ・「枚方市大東清四美術品管理基金」を活用し、本市が所有する美術品等の継続的な保管・管理を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	76.1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	6.54	3.86	2.50
正職員数	4.36	2.55	1.60
非正規職員数(計)	2.18	1.31	0.90
再任用職員数	1.96	0.59	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.22	0.72	0.65
臨時職員数	0.00	0.00	0.15
■人件費総額(千円)	43,580	24,940	14,508
正職員人件費(換算額)	34,331	20,275	12,827
非正規職員人件費(計)	9,249	4,665	1,681
再任用職員人件費(換算額)	8,710	2,904	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	539	1,761	775
臨時職員人件費(実額)	0	0	396
■直接経費(千円)	347,438	523,670	548,494
■事務事業の総計(千円)	391,018	548,610	563,002
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	150,282	55,118	48,631
一般財源	240,736	493,492	514,371

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	76.10%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>○清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行。</p> <p>○センターの光熱水費に係る予算の執行。</p> <p>○施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等の執行。</p> <p>○給排水設備や空調設備、電気設備をはじめとして施設・設備の老朽化が進んでおり、予算を有効活用し、施設維持を行っている。令和元年度は、市有建築物保全計画に基づき、南部・牧野施設の空調設改修工事、津田施設の屋根更新工事等を行った。</p> <p>○生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度による管理運営を行った。</p> <p>○中央図書館資料室で保管している市所蔵美術工芸品の状態調査を行った。</p> <p>○「枚方市大東清四美術品管理基金」を活用し、美術作品の保険料に充てる等、市所蔵美術工芸品の適正管理に役立てた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>○生涯学習市民センターの改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。</p> <p>○指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。</p> <p>○中央図書館資料室等で保管している市所蔵美術工芸品の適正管理を行い、総合文化芸術センターの作品保管室への集約業務を行う。併せて保険加入を廃止する。</p> <p>○基金については、本市の美術施策の充実並びに美術品等の継続的な保管・管理のために活用する。</p>	

事務事業実績測定調査

10317010007	生涯学習市民センター活動委員会事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民とセンター職員が連携・協力して地域の特色を活かした生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	市民とセンター職員で構成する活動委員会を、平成19年度から楠葉・さだ・御殿山・牧野・津田・菅原の各センターに、平成20年度からは南部生涯学習市民センターにも設置。地域の特色を生かした市民対象事業を実施してきた。活動委員会の構成は、市民からは①利用団体関係者、②地域活動に意欲のある者、③事業に関心のある者、④センター職員としている。指定管理者制度を導入している6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・さだ・牧野)においては、指定管理者から負担金20万円を支出し、活動委員として2名参加している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	事業への参加率(募集人数と参加者人数の割合)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	90.9					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.79	1.38	1.12
正職員数	2.17	0.78	0.72
非正規職員数(計)	2.62	0.60	0.40
再任用職員数	0.60	0.30	0.30
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.02	0.30	0.10
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	24,492	8,179	7,420
正職員人件費(換算額)	17,225	6,203	5,772
非正規職員人件費(計)	7,267	1,976	1,648
再任用職員人件費(換算額)	2,324	1,242	1,529
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	4,943	734	119
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,000	200	200
■事務事業の総計(千円)	25,492	8,379	7,620
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	25,492	8,379	7,620

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	90.90%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>活動委員会への負担金は指定管理者制度導入施設では、指定管理料に包含して支出している。負担金を市が直接支出する活動委員会は南部生涯学習市民センター1施設(200千円)である。</p> <p>各生涯学習市民センターの地域の特色を生かした活動委員会事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楠葉 参加延べ人数 3,843人 ○さだ 参加延べ人数 531人 ○御殿山 参加延べ人数 2,503人 ○牧野 参加延べ人数 393人 ○津田 参加延べ人数 1,255人 ○菅原 参加延べ人数 11,497人 ○南部 参加延べ人数 8,138人 <p>合計28,160人</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	各活動委員会では、地域の特性を生かした文化事業や交流事業など、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んでいるが、より幅広い市民層の参画による活性化が図れていないこと、活動委員会委員や事業の固定化などが課題である。指定管理者による企画やノウハウを活用し更なる活性化に繋げていく。	

事務事業実績測定調査

10317010008	生涯学習事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業、若手芸術家支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		～		
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則及び決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生涯学習事業の企画・立案・実施や交流の促進を行い、市民の生涯学習活動が推進されている。				
事業概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。 <input type="checkbox"/> 生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。 <input type="checkbox"/> 枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。 <input type="checkbox"/> 枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及びびくずはアートギャラリーの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただいている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより) 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	45.1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	67.00	30.57	22.05
正職員数	11.19	4.57	6.79
非正規職員数(計)	55.81	26.00	15.26
再任用職員数	8.60	1.19	2.27
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	45.31	24.07	12.79
臨時職員数	1.90	0.74	0.20
■人件費総額(千円)	156,077	54,871	81,781
正職員人件費(換算額)	88,710	36,343	54,435
非正規職員人件費(計)	67,367	18,528	27,346
再任用職員人件費(換算額)	33,835	5,053	11,572
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	29,768	11,921	15,246
臨時職員人件費(実額)	3,764	1,554	528
■直接経費(千円)	17,074	17,428	155,420
■事務事業の総計(千円)	173,151	72,299	237,201
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	3,357	1,120	2,621
一般財源	169,794	71,179	234,580

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	45.10%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	<p>・生涯学習市民センターにおいて、市主体、市民主体の事業を行うほか、指定管理者制度を導入している6施設について、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。生涯学習推進審議会はコロナウイルス感染症のため延期し、開催実績なし。美術施設運営委員協議会は6月に委員の改選を行い、3回開催した。</p> <p>【令和元年度利用実績】 一般団体利用50,704件 行政による利用1,776件 センターの主催や共催などによる利用4,474件 合計56,954件</p> <p>【令和元年度事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部局連携講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」0回 (コロナウイルス感染症のため中止。) ・マナビスト講座 実施回数 2回 (コロナウイルス感染症のため1回延期) ・「初級人形劇講習会」 実施回数1講座10回 ・「サンサン人形劇場」 実施回数9回 ・「御殿山生涯学習美術センター美術関連事業」 実技講座14回(内3回はコロナウイルス感染症のため延期)、アトリエ美術館 実施回数1回、作品合同展 実施回数1回 ・「人形劇中級講座」 実施回数1回 ・「まつりなど市民主体の事業」 実施回数3回(楠葉・さだ・牧野)(津田はコロナウイルス感染症のため中止。) 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。</p> <p>また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。</p> <p>生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。</p> <p>美術施設運営委員協議会においては、枚方市における文化芸術を支える環境づくりを目指し、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。</p>	

事務事業実績測定調査

10317010009	朝鮮語教室運営事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	63.あらゆる世代の人が身近なところで学ぶことができる機会の創出を図り、その成果を地域で生かし、市民同士等がつながりを育める環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	生涯学習支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974 (S49) 年度		～		
根拠法令等	枚方市朝鮮語教室設置要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	朝鮮語を学ぶことで隣国に対する理解を深めることができ、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流の推進が図られている。				
事業概要	朝鮮語の学習だけでなく、DVD鑑賞、民族音楽鑑賞、詩の朗読会、料理教室等文化、風俗、習慣等を含めた授業を40回開催する。なお、中級クラスの受講者数が伸び悩んだことから平成27年度からは初級クラス(1クラス)のみの募集・開催としている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80以上	80以上	80以上		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.17	0.31	0.05
正職員数	0.15	0.31	0.05
非正規職員数(計)	0.02	0.00	0.00
再任用職員数	0.02	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,270	2,465	401
正職員人件費(換算額)	1,181	2,465	401
非正規職員人件費(計)	89	0	0
再任用職員人件費(換算額)	89	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	1,270	2,465	401
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,270	2,465	401

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	新型コロナウイルス感染症対策の為アンケート 調査を実施できず	
事務事業の実績	開催回数:36回(年間) 参加延べ人数:1,206人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	本事業は教育委員会の社会教育事業を生涯学習課が補助執行として実施している。引き続き、多文化共生社会の醸成と国際交流の推進を図っていく。	

事務事業実績測定調書

10317030002	市民会館施設維持管理運営事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	65.まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	枚方市市民会館条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理できている。				
事業概要	市民会館設置目的を踏まえ、利用者が安全・安心して施設を利用できるよう、適切に施設の維持管理を行う令和2年4月から直営管理を行う(令和3年10月にホール棟、令和4年3月に本館を廃止する予定)				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標				
指標の説明	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
目標(予測)	—	50	50	—	単位
実績	—				%

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.45	0.65	0.50
正職員数	0.45	0.65	0.50
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,543	5,168	4,009
正職員人件費(換算額)	3,543	5,168	4,009
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	105,453	102,752	87,240
■事務事業の総計(千円)	108,996	107,920	91,249
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	108,996	107,920	91,249

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>令和元年(2019年)12月定例月議会で「枚方市総合文化芸術センターの設置に伴う関係条例の整備に関する条例」が可決されたことにより、市民会館の大ホールロビーと小ホールを令和3年10月1日に、市民会館を令和4年4月1日にそれぞれ廃止することと、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの間は直営で管理を行うことが決定されたため、令和元年度に令和2年4月1日から令和4年3月31日までの市民会館総合管理運営業務委託手続きを行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>老朽化している施設のため、貸館廃止までの期間について、利用者に影響が出ないよう、緊急度等を踏まえ維持管理業務に取り組む。</p>	

事務事業実績測定調査

10317030003	総合文化施設整備事業(文化生涯学習課)		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	65.まちの価値を高め、集客と賑わいを創出する文化芸術拠点施設として総合文化施設を整備し、優れた文化芸術にふれる機会を提供するとともに、多くの市民が文化芸術活動を行うことのできる環境づくりを進めます	
	実行計画事業名	総合文化施設整備事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		~		
根拠法令等	決裁、枚方市総合文化芸術センター条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々なジャンルの優れた文化芸術に触れる機会を作ることで、幅広い年代の方が、枚方市内でそれぞれのニーズに合った文化芸術を楽しむことができる。また、枚方市内でそうした機会を作ることで、文化芸術にあまり関心がなかった人(やその子ども)も、文化芸術に触れる機会が得られる。				
事業概要	<p>集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、優れた実演芸術の公演や、日常練習や発表などの市民の文化芸術活動の場となる総合文化施設を整備する。</p> <p>平成30年度～令和2年度 建設工事 令和元年度～令和2年度 指定管理者選定 令和3年度 開館</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標				
指標の説明	来館者数				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	0	200,000	304,000	
実績	0				

人

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.33	1.65	2.05
正職員数	2.33	1.65	2.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	18,346	13,119	16,435
正職員人件費(換算額)	18,346	13,119	16,435
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	267,909	1,099,339	1,029,738
■事務事業の総計(千円)	286,255	1,112,458	1,046,173
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	122,300	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	163,955	1,112,458	1,046,173

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>枚方市総合文化芸術センターの建築工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事を平成30年10月に、舞台音響設備工事と舞台照明設備工事を平成30年12月から開始した。 令和元年12月定例会月議会において「枚方市総合文化芸術センターの設置に伴う関係条例の整備に関する条例」を可決し、令和2年1月から枚方市総合文化芸術センター指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者選定の手続きを行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>建設は、令和2年度内の完成を目指す。6月定例会月議会での議決後、指定管理者の指定を行い、基本協定を締結する。その後、開館準備業務を指定管理者へ委託する。</p>	

事務事業実績測定調書

10317040002	くずはアートギャラリー運営補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	66.まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	身近に作品を展示・発表する場があることが創作意欲につながり、市民の文化芸術活動が活性化すること				
事業概要	市、京阪電鉄、枚方市文化国際財団の三者のパートナーシップにより運営を行っている「くずはアートギャラリー」に運営補助金を交付する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	くずはアートギャラリー使用者の満足度					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	70	—	—		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.25	0.15	0.10
正職員数	0.25	0.15	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,969	1,193	802
正職員人件費(換算額)	1,969	1,193	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	15,499	17,061	17,858
■事務事業の総計(千円)	17,468	18,254	18,660
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	17,468	18,254	18,660

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	91.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>くずはアートギャラリーの利用者46組に利用満足度のアンケートを実施したところ、5段階の評価で、5が34、4が8と、91%が利用に満足している結果となった。また、利用を促進するため新たに半室利用の運用を開始した。</p>	
今後の方向性	休止・終了	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き利用を促進するが、令和2年度末で事業を終了するため、利用者に総合文化芸術センターの美術ギャラリーの利用を周知する。併せて、画商等の美術ギャラリーを利用することができない利用者に対しては、利用できない旨を周知する。</p>	

事務事業実績測定調書

10317040003	市民企画イベント促進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	66.まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	子どもの文化芸術の体験を促進する事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		~		
根拠法令等	枚方市市民企画イベント促進事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民(団体)が、希望する会場で、文化芸術事業を企画・実施できている。				
事業概要	市内において、文化芸術の振興に資すると認められる事業を実施しようとする者に対して、事業に要する経費に対する補助等の支援を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	各事業の参加者数の合計					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	150	150	150		
実績	520					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.12	0.25	0.25
正職員数	0.12	0.25	0.25
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	945	1,988	2,004
正職員人件費(換算額)	945	1,988	2,004
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	19	238	364
■事務事業の総計(千円)	964	2,226	2,368
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	964	2,226	2,368

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	平成31年度市民企画イベント促進事業審査委員会の結果に基づき、3団体に対して施設確保、広報支援、資金補助を行い、延べ520人の参加者があった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	基本的な事業形態を維持しつつ、総合文化芸術センターで市民企画イベントを実施するなど、市民主体の様々なジャンルの文化芸術活動の活性化に取り組んでいく。	

事務事業実績測定調査

10317040005	市民ギャラリー運営事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	66.まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		～		
根拠法令等	枚方市立生涯学習市民センター条例、枚方市立生涯学習市民センター条例施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切に市民ギャラリーの運営ができており、美術作品の発表、鑑賞の場として、市民の美術文化の向上につながっている。				
事業概要	市民に美術作品の発表及び美術鑑賞活動と文化交流の場としてギャラリーを設置し、市民の利用に供している。 ※市民ギャラリーは総合文化芸術センターの開館と同時に廃止する。(2021年9月末)				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	市民ギャラリー利用率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90以上	90以上	—		
実績	80.67					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.86	1.26	0.57
正職員数	0.28	0.81	0.37
非正規職員数(計)	0.58	0.45	0.20
再任用職員数	0.13	0.20	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.45	0.25	0.10
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,514	8,036	3,595
正職員人件費(換算額)	2,205	6,440	2,966
非正規職員人件費(計)	1,309	1,596	629
再任用職員人件費(換算額)	578	984	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	731	612	119
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	114	44	21
■事務事業の総計(千円)	3,628	8,080	3,616
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	7	0
一般財源	3,628	8,073	3,616

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	80.67%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	「市主催展」開催回数:12回、来場者数:11,660人 「各利用者展」開催回数:66回、来場者数:35,395人	
今後の方向性	廃止	
具体的な 今後の取組方針	より多くの方にご来場いただけるよう、広報・市ホームページ・センター情報誌等での周知を図るとともにポスター・チラシ・アンケート等を活用し、さらに施設の利用者及び来場者の満足度向上を図る。 令和3年10月以降は総合文化芸術センター美術ギャラリー(指定管理者)への引継ぎを行う。	

事務事業実績測定調査

10317040007	文化芸術創造拠点形成事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	66.まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R1年度(2019年度)		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的事情や身体的事情によって移動が困難な人が、身近な場所で文化芸術に触れる機会が増加している。学校や教育委員会との連携により、すべての子どもたちに文化芸術に触れる機会を等しく提供することができる。若手芸術家が地域に貢献していると実感でき、技術力が研鑽され、芸術家としてのキャリアが向上している。				
事業概要	枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、文化国際財団との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室を開催。また、文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	85		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.65	2.39
正職員数	0.00	0.65	2.39
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	5,168	19,161
正職員人件費(換算額)	0	5,168	19,161
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	133	0
■事務事業の総計(千円)	0	5,301	19,161
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	5,301	19,161

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	90.00%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>令和元年度は下記の事業を文化国際財団との共催・委託、または直営で実施した。</p> <p>①文化芸術アドバイザー・平田オリザ氏によるコミュニケーション授業を市立7小学校の6年生を対象に10日間実施した他、教員と一般市民を対象とした教育講演会を開催した。</p> <p>②文化芸術アドバイザー・辰巳満次郎氏による能楽ワークショップを大人向け、小中学生向けに開催した。</p> <p>③文化芸術アドバイザー・市川克明氏による吹奏楽クリニックを市立中学校の吹奏楽部に在籍する生徒を対象に実施。楽器別指導と学校ごとの合奏指導を行う予定だったが、合奏指導は新型コロナ感染拡大防止のため中止。</p> <p>④文化芸術アドバイザー・わかぎゑふ氏による朗読・朗読劇のワークショップと発表を兼ねた公演を実施する予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため中止。</p> <p>⑤オーケストラ鑑賞事業を実施し、市立11中学校の1年生が大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を鑑賞した。</p> <p>⑥大阪フィルハーモニー交響楽団主催の6公演で、枚方市民特別鑑賞取扱公演を実施した。</p> <p>⑦アウトリーチ事業を市立15小学校で実施し、市アーティストバンクに登録する若手芸術家が実演した。</p> <p>⑧若手芸術家に発表の機会を提供する「アート・スプラウトシリーズ パフォーミングアーツ」を5回開催。→最後の1回は新型コロナ感染拡大防止のため中止。</p> <p>⑨枚方シティオペラ公演スペシャルコンサートを実施する予定だったが、新型コロナ感染症拡大防止のため中止。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和元年度に引き続き、委託または共催、直営で実施する。	

事務事業実績測定調書

10317040011	文化芸術補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち	
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	
	取り組みの方向	66.まちの魅力を創出し、まちへの愛着につながるよう、市民による身近な文化芸術活動を促進するとともに、文化芸術に対する市民の関心及び理解を深める取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	身近に安価に文化芸術に触れる機会が増えている。 市民団体のニーズをくみ取りながら、発表の機会を作ることができている。				
事業概要	枚方市文化国際財団が実施する演劇・音楽・映画等の文化芸術事業の実施に係る経費に補助金を交付する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加者の満足度 アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	—	—		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.22	0.10	0.35
正職員数	0.22	0.10	0.35
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,732	795	2,806
正職員人件費(換算額)	1,732	795	2,806
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	34,218	28,916	26,346
■事務事業の総計(千円)	35,950	29,711	29,152
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	35,950	29,711	29,152

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>音楽事業として、枚方市と連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の室内楽演奏会、ランチタイムコンサートやひらかたアルテアチェンバーオーケストラなどを実施した。</p> <p>演劇等では、落語公演「南光・春若 二人会」を開催するなど、伝統芸能の普及に努めた。</p> <p>美術では、「佐川美術館」での美術作品の鑑賞と藍染め体験を行う秋の美術鑑賞ツアーを開催や、くずはアートギャラリーで九世吉向松月展や枚方市所蔵作品選抜展などのミニ企画展を行った。</p> <p>市民の活動支援では、「ひらかた市民合唱祭」、「ひらかた吹奏楽フェスティバル」、「枚方市民メサイアフェローズ公演」などを支援した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2月下旬以降に予定していた8事業が中止となった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方策	平成29年3月策定の「文化芸術振興計画」をふまえ、補助金に見合う事業が執行されるよう、引き続き適正管理に努める。	

事務事業実績測定調査

10419040002	海外友好都市交流推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	71.本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987 (S62) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市との信頼関係を安定して築き、枚方市の魅力を他国に発信できている。 異文化交流を通して、新たな発見を得るとともに、歴史を保存継承できている。				
事業概要	海外友好都市(オーストラリア連邦クィーンズランド州ローガン市・中華人民共和国上海市長寧区・大韓民国全羅南道靈岩郡)との交流事業を行う。 また、市内(市内)の国際化に向けた取り組みを進める。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標				
指標の説明	市民対象事業参加者の満足度 事業報告会で肯定的評価を行った参加者率の事業平均				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位 肯定的表現の参加者率 (事業平均) 【%】
目標(予測)	—	80	80	80	
実績	—				

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.81	0.70	0.25
正職員数	0.81	0.70	0.25
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	6,378	5,566	2,004
正職員人件費(換算額)	6,378	5,566	2,004
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,106	637	270
■事務事業の総計(千円)	7,484	6,203	2,274
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,484	6,203	2,274

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市文化国際財団主催事業として、公募により参加した枚方市の中学生10名が夏休み期間中にオーストラリア・ローガン市を訪問し、ホームステイ先での滞在および現地の学校であるチゾム・カソリック・カレッジでの授業体験などを行った。 ・11月に「博士王仁まつり」の参加のため来枚した霊岩郡訪問団を受け入れ交流を行った。 ・12月に枚方市から5名の市民友好代表団を中国上海市長寧区へ派遣し、公共施設の視察や文化交流を行った。 ・枚方市在住外国人をサポートするため、「外国人のための枚方生活ガイド」を7ヶ国語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、日本語)の改訂を行った。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	海外友好都市との交流事業については、友好交流確認書に基づき、取り組みを進める。	

事務事業実績測定調査

10419040007	国際交流補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	71.本市が有する歴史文化遺産や淀川、東部地域の自然などの貴重な観光資源を効果的に発信し、地域内外の交流機会の創出を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度～		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国際交流に関心のある市民は、関心のある外国語の知識が身に付き、国際交流の機会が得られている。 市内在住外国人は、生活する上で必要な情報が容易に手に入り、安心して生活を送ることができる。				
事業概要	<p>枚方市文化国際財団が実施する次の国際交流事業の実施にかかる経費に補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の国際交流活動の支援及び促進事業 ・海外友好都市との友好交流事業 ・国際理解推進事業 ・在住外国人交流事業 ・国際交流に関する調査 ・研究及び各種情報 ・資料の収集並びに提供事業 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	参加者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	5,000	—	—		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.01	0.16	0.01
正職員数	0.01	0.16	0.01
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	79	1,272	80
正職員人件費(換算額)	79	1,272	80
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	15,182	13,628	15,421
■事務事業の総計(千円)	15,261	14,900	15,501
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	15,261	14,900	15,501

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の国際交流活動の支援促進のための語学講座、外国人に日本語を教えるボランティアを育成する養成講座、国際料理教室、多文化フェスティバルや国際交流こども絵画展等を実施した。 ・在住外国人交流事業として、日本語教室をサポートした。 ・関西外国語大学のインターンシップ生を1名受け入れた。 ・その他、ホームページや情報誌等により、市民及び在住外国人情報を発信した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、市民の国際理解の推進と交流活動の支援促進に努める。	

事務事業実績測定調査

10419050002	ひらかた市民大学開催事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	72.大学の知的資源をまちづくりに生かすため、「学園都市ひらかた推進協議会」などによる大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携による取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	市内大学連携・交流事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005 (H17) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内5大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる講座を市民に提供することで、多様化・高度化する市民の学習意欲に応えることができているとともに、それが生涯学習の推進・生きがいの増進につながっている。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を市内5大学においてそれぞれ1講座実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90以上	90以上	90以上		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.33	0.22	0.23
正職員数	0.33	0.22	0.23
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,620	1,750	1,844
正職員人件費(換算額)	2,620	1,750	1,844
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	2,620	1,750	1,844
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,620	1,750	1,844

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>講座への市民参加費はこれまでと同様に無料とし、以下の事業を市内5大学で実施した</p> <p>①摂南大学「高齢者のための体力測定会～自分の体力を知って、健康づくりに活かすために～」(受講者数:20名)</p> <p>②関西外国語大学「日本の文化資産としてのマンガとアニメ」(受講者数:30名)</p> <p>③大阪工業大学「大人のためのプログラミング体験」(受講者数:33名)</p> <p>④大阪歯科大学「超高齢化時代のアンチエイジング・サイエンス」(受講者数:42名)</p> <p>⑤関西医科大学「がんの最新の治療—関西医科大学の取り組み」(受講者数:84名)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	参加者の増加に向け、周知方法等について検討を行うとともに、各大学の特色を生かした上で、身近で話題性のあるテーマ、講座内容を各大学と協議・検討しながら、市民生活に役立つ魅力的な事業となるよう取り組みを進める。	

事務事業実績測定調査

10419050003	子ども大学探検隊事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	72.大学の知的資源をまちづくりに生かすため、「学園都市ひらかた推進協議会」などによる大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携による取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	市内大学連携・交流事業	
総合計画体系②	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	73.学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。	
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	参加者が大学に親しみを感じ、将来への夢を育むことができる。				
事業概要	学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験をする「子ども大学探検隊」事業を実施する。小学生(高学年)対象。市内5大学のうち毎年希望する大学において実施。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	満足度(アンケートにより) アンケートにより満足であったと回答した割合。 【算出式:「とても良かった」「良かった」と回答した人数/回答者人数×100】項目:「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90以上	90以上	90以上		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.18	0.22	0.23
正職員数	0.18	0.22	0.23
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,429	1,750	1,844
正職員人件費(換算額)	1,429	1,750	1,844
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	1,429	1,750	1,844
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,429	1,750	1,844

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>令和元年度は、市内全5大学で開催。</p> <p>【大阪歯科大学】 テーマ:「歯の模型を作ろう！1日歯医者さん体験」 歯に関する講義。模型づくり、大学生によるクイズ、動物の歯型による歯の勉強、学園祭体験。(参加者24名)</p> <p>【関西外国語大学】 テーマ:「関西外大で英語を使ってみよう！試してみよう！ガイドイ・ワールドへ・いらっしやい！」 世界各国からの留学生や将来先生を目指している学生とゲームなどで触れ合いながら英語の力を養う体験。(参加者24名)</p> <p>【関西医科大学】 テーマ:「一日お医者さん！～今の医学にふれる体験学習～」 心臓、血圧に関する講義、趣味レーションセンターでの体験学習を行い、医師の仕事の一部を体験した。(参加者12名)</p> <p>【大阪工業大学】 テーマ:「Oh! ITカーニバル」 学園祭で実施している各研究室の研究発表に参加。自由参加形式。(スタンプラリー参加者約150名)</p> <p>【摂南大学】 テーマ:「キミはいくつ知ってる？植物の不思議」 身近にある植物を観察し、実験を交えながら植物の不思議を学ぶ講座。(参加者12名)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	より多くの市民が参加できるよう、各大学の特色を活かした事業を行い、市民周知に努める。	

事務事業実績測定調書

10999990152	文化生涯学習課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500500	観光にぎわい部文化生涯学習課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務を滞りなく処理できている。				
事業概要	課の運営業務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし				
指標の説明	—				
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位
目標(予測)	—	—	—	—	
実績	—	—	—	—	

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.62	2.76	2.61
正職員数	3.38	2.36	2.34
非正規職員数(計)	1.24	0.40	0.27
再任用職員数	0.94	0.20	0.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.30	0.20	0.10
臨時職員数	0.00	0.00	0.15
■人件費総額(千円)	31,278	20,237	19,377
正職員人件費(換算額)	26,614	18,764	18,760
非正規職員人件費(計)	4,664	1,473	617
再任用職員人件費(換算額)	4,177	984	102
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	487	489	119
臨時職員人件費(実額)	0	0	396
■直接経費(千円)	2,636	1,386	19,001
■事務事業の総計(千円)	33,914	21,623	38,378
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	33,914	21,623	38,378

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	-	
事務事業の実績	<p>[生涯学習課] 生涯学習市民センター9ヶ所及び生涯学習グループの運営に関して、人事、予算執行、各種照会・回答等について適切に執行した。</p> <p>[文化振興課] 文化振興グループの運営に関して、予算執行、各種照会・回答等について適切に執行するとともに、文化国際財団をはじめ関連団体との連絡調整を適切に行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度より、生涯学習課と文化振興課が統合し、文化生涯学習課となった。各種照会・回答をはじめ、両課で行う同一の業務に関して、効率的な課運営の観点から統一化を進めていく。	